

## 第2回福岡数論研究集会

本研究集会は日本学術振興会科研費基盤 B (No.19340009) (代表者: 金子 昌信) の援助により開催されます。

日時: 2007 年 8 月 28 日 (火) – 8 月 30 日 (木)

場所: 九州大学 (箱崎キャンパス) 理学部 4 号館 2 階 4201 号室  
福岡市東区箱崎 6-10-1

### プログラム

8 月 28 日 (火)

13:30 – 14:30 岡崎 武生 (京都大学)

Base change type spinor  $L$ -function of  $\mathrm{GSp}_4(\mathbb{Q})$

14:50 – 15:50 成田 宏秋 (大阪市立大学)

Fourier expansion of Arakawa lifting

(村瀬篤氏との共同研究)

16:10 – 17:10 廣惠 一希 (東京大学)

Hecke-Siegel's pull back formula for the Epstein zeta function  
with a harmonic polynomial

8 月 29 日 (水)

9:30 – 10:30 都築 正男 (上智大学)

$\mathrm{SL}_2(\mathbb{Z})$  上の Maass 形式の閉測地線にそった周期積分に付随する  
スペクトル型ゼータ関数について

10:50 – 11:50 川島 学 (名古屋大学)

Newton 級数の多重  $L$  値への応用

(田中立志氏との共同研究)

13:50 – 14:50 陸名 雄一 (早稲田大学)

パラメーター付き多項式の同型問題について

- 15 : 10 – 16 : 10 木村 巖 (富山大学)  
Some aspects on (in)divisibility of special values  
of zeta functions associated to quadratic fields
- 16 : 30 – 17 : 30 青木 美穂 (岡山理科大学)  
CM 体上の円分  $\mathbb{Z}_p$  拡大と高次  $K$  群について
- 18 : 30– 懇親会

8 月 30 日 (木)

- 9 : 30 – 10 : 30 橋本 竜太 (詫間電波高専)  
実 2 次無理数の Ankeny-Artin-Chowla 予想と連分数展開
- 10 : 50 – 11 : 50 末吉 豊 (長崎大学)  
2 次体の 2-類体塔の無限性について
- 13 : 50 – 14 : 50 小松 亨 (上智大学)  
Shanks の 3 次多項式に関する幾つかの性質について
- 15 : 10 – 16 : 10 真田 ゆかり (津田塾大学)  
モックテータ関数の関係式
- 16 : 30 – 17 : 30 市川 尚志 (佐賀大学)  
Siegel modular forms modulo  $p$

※ 研究集会の最新情報は下記アドレスでご確認ください。

<http://www.fukuoka-edu.ac.jp/~ykishi/FSNT/07-fukuokaNT.html>

世話人： 金子 昌信 (九州大学)    mkaneko@math.kyushu-u.ac.jp  
権 寧魯 (九州大学)    ygon@math.kyushu-u.ac.jp  
岸 康弘 (福岡教育大学)    ykishi@fukuoka-edu.ac.jp